



川の 上流 と下流はどこで見分けるの

流れの速さや石の大きさなど

川の 上流の水はぶつう、川の 両側が山で囲まれている、谷間を流れています。水の量は少なく、川はばがせまく、川底のかたむきが急になっているので、水の流れは速くなっています。

両岸は、がけになっている所が多く、大きな角ばった石がごろごろしています。ときには、滝が見られることがあります。また、上流にはダムが造られることがあります。

川の下流では、川はばが広くなり、水の量も多くなっています。川底のかたむきがほとんどないので、水はゆっくりと流れています。また、川は曲がりくねって流れることが多くなります。

川岸には、砂やねん土でできた、広い川原ができます。また、川底には、小さくて丸い小石や、砂、ねん土などが積もってます。

下流へいくほど、石が小さく丸くなる

川の上流には、近くの山や、がけからくずれ落ちてきた、大きな石があります。この石は長い間に少しずつ、下流へ流されていきます。

上流の大きな石が下流へ流されていくうちに、川岸や川底にぶつかったり、石どうしがぶつかりあったりして、だんだん小さくなっていきます。そして、角がとれて丸くなっていきます。（監修・国司 真）

